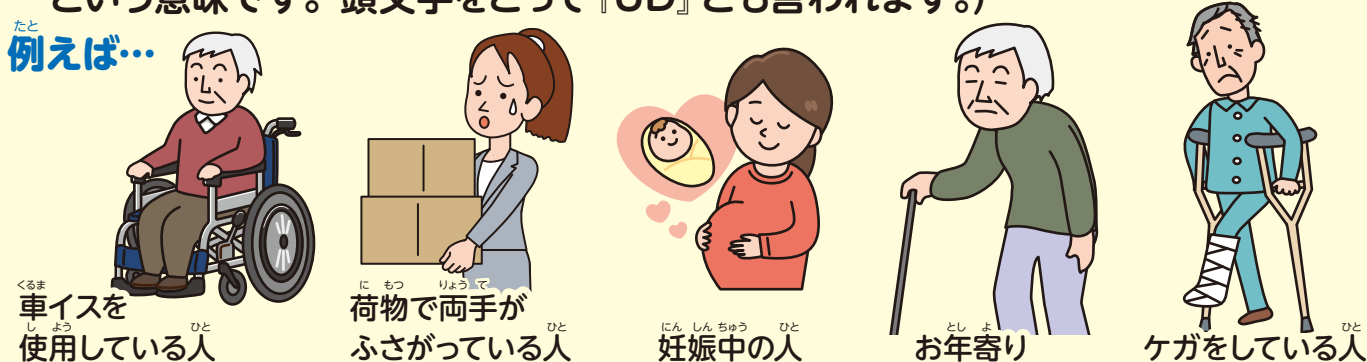


「ユニバーサルデザイン (UD)」ってなに？

年齢や性別、能力、国籍の違いに関わらず、できるだけ多くの人
使いやすい環境づくりをすることです。

(ユニバーサルは「すべての、みんなの」という意味で、デザインは「計画、設計」
という意味です。頭文字をとって『UD』とも言われます。)

たとえば…



ユニバーサルデザインの7つのルール

①公平性

誰でも公平に利用できること
自動ドアは、車イスを使用している人だけでなく、荷物で両手がふさがっている人やベビーカーを押している人など誰でも利用することができます。



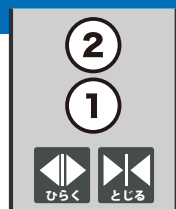
②自由度

利用する上で自由度が高いこと
洗面台の高さが違うなど、背の高さや使う人の状況に合わせて、使いやすい方を選ぶことができます。



③単純性

利用方法が簡単ですぐにわかること
エレベーターのボタンは、操作が簡単で、ボタンも大きく表示してあったり、文字や記号が立体的になっているものもあります。



④わかりやすさ

必要な情報がすぐにわかること
絵を使った案内表示は、子どもや外国人など、利用する人の経験や知識、言葉の能力に関係なく、必要な情報が分かります。



⑤安全性

うっかりミスや危険につながらないこと
電子レンジなどの危険防止機能のついた家電製品は、使用中にうっかり開けてしまった時など、停止する仕組みになっています。



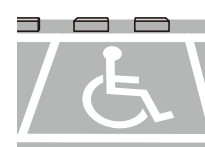
⑥体への負担の少なさ

無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に利用できること
レバー式のドアノブは、丸いドアノブより、手の力の弱い人や荷物などで手が使えない時でも、簡単に開けることができます。



⑦スペース等の確保

使いやすい広さと大きさを確保すること
障がい者用駐車場は、車イスを使用する人などが、車の乗り降りをしやすいように、幅を確保しています。



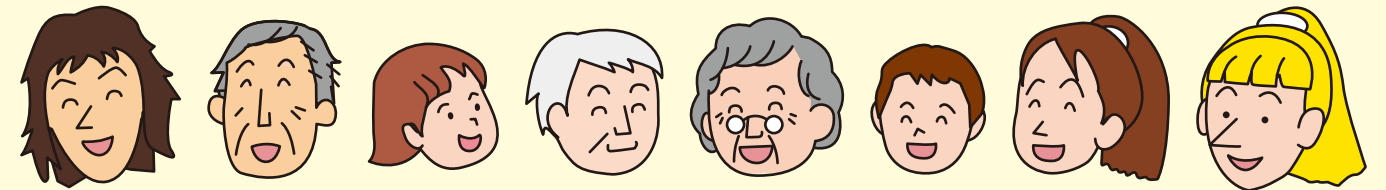
施設だけではなく、身近なところにも、いろいろなユニバーサルデザインがあるんだよ！



みんなでできる

心のユニバーサルデザイン

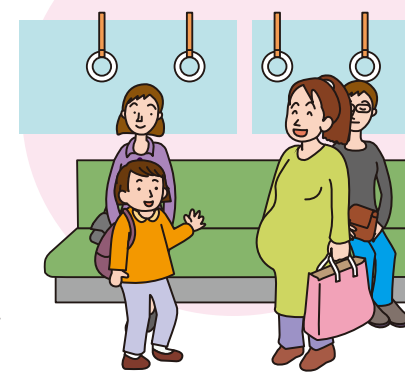
ユニバーサルデザインは、お金や時間をかけなくても、ちょっとした気づかいや思いやりの心で、ユニバーサルデザインのまちづくりを進めることができます。



たとえば…

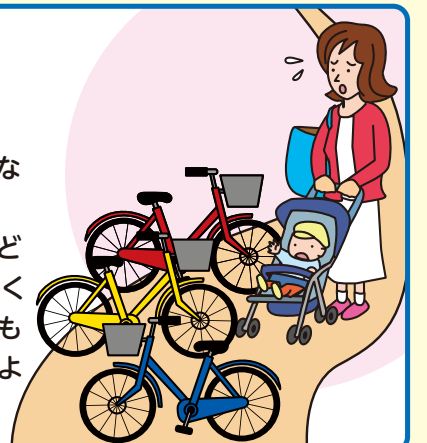
1

電車やバスの中でお年寄りや妊娠中の人など立っていることが大変そうな人には、席をゆずりましょう。



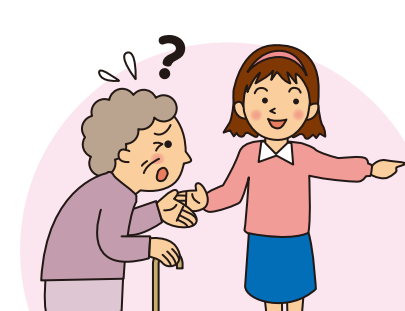
2

歩道はいろいろな人が通ります。自転車や看板などがあると通りにくく、危険です。誰もが安全に通れるようにしましょう。



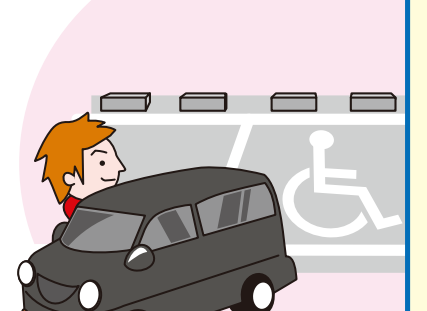
3

困っている人や、迷っている人などを見かけたら、声をかけて手助けしましょう。



4

マナーは守りましょう。「私だけなら大丈夫」という気持ちや行動によって困っている人がいます。



みんなが暮らしやすい、安全で安心なまちづくりのために、まずは私たちにできることから始めましょう。

思いやりの心を持って行動すると、ユニバーサルデザインにつながるんだね。
みんなもできることから始めっぺ！

